

令和7年度第2回理事会次第

日 時：令和8年1月20日(火)15時00分

会 場：ホテルグランヒルズ静岡(静岡市駿河区南町)

I 開 会 理事長挨拶 15:00～

II 協議事項 資料頁

【第1号議案】役員の変更について 1

【第2号議案】令和8年度通常総会の開催場所及び開催時期について 1

III 報告事項

【報告事項1】要望等の実施状況について 3

【報告事項2】ホテル旅館の事業継続計画ガイドブック(災害対策編)について 6

【報告事項3】NHKまとめ払いの状況について 7

【報告事項4】第12回ふじさんの日お宿キャンペーンの実施について 8

【報告事項5】ふるさと納税の返礼品宿泊券割引について 9

【報告事項6】今後の主な行事予定 10

参考資料1 「ホテル旅館の事業継続計画(災害対策編)ガイドブック」(案)

IV 連絡事項

V 閉 会

16:30～ 研 修 「盲導犬のホテル旅館への受入れについて」
(日本盲導犬協会 広報コミュニケーション部 大砂奈月)

16:45～ 懇 親 会

協議事項

【第1号議案】役員の変更について

1 支部役員の改選に伴う県連役員の変更

| 支 部 名 | 県組合役職 | 現 任 者 | 新 任 者 | 備 考 |
|-------|-------|-------------------|--------------------|--------|
| 熱海 | 理 事 | 岩瀬 敬之 いわせ たかゆき | 向坂 雄典 むかさか ゆうすけ | 2025.7 |

【第2号議案】令和8年度定時総会の開催場所及び開催時期について

通常総会の開催については、従来、『過去と最近の開催地を考慮して、開催回数が少ない地区で開催する』ことを基本として開催場所を決めていた。

しかし、2020年2月以降、想定をはるかに超えて長期間継続した新型コロナウイルスが2023年5月の5類に移行し完全に終息しましたが、その後は、人手不足等の影響があり、業績の回復が見られていないことを考慮し、今後の更なる業績の回復ができるだけ多くの組合員と共有できるよう、上記の基本方針に加えて、全県から集まりやすい場所での開催とした。

また、最近では、従前のような宿泊を前提とする総会から、日帰りを基本とする総会への移行が進んで来ている。

以上の状況を勘案し、令和8年度以降の通常総会については、過去の開催場所を勘案することなく、全県から組合員が集まりやすい場所での開催を基本とし、特別な事情のある場合には、その事情を考慮して開催場所を決めることを方針としたい。

<過去の開催状況>

⇒ 平成元年以降の開催状況は次頁のとおりで、新型コロナウイルスで書面総会となった令和2年度を除き、昨年まで36回開催され、6地区での開催状況は、次の通り。

| | | | |
|---------|-----|---------|----|
| 熱海伊東地区 | 8回 | 伊豆東南部地区 | 3回 |
| 伊豆中西部地区 | 3回 | 東 部 地 区 | 4回 |
| 中 部 地 区 | 12回 | 西 部 地 区 | 6回 |

<新型コロナウイルス感染拡大の影響>

⇒ 新型コロナが感染法上5類となった後は、集まりやすい場所での開催ということで、令和5年度は、東部地区(沼津)で、6年度及び7年度は、中部地区(静岡)で開催した。

<8年度総会の開催場所>

全県からの組合員が集まりやすい場所として、静岡駅周辺の会場を提案する。

- 日 時 令和8年5月25日(月) 15時から
- 場 所 ホテルグランヒルズ静岡

【参考:平成元年以降の開催地】

| 年月日 | 市町村 | 場所 | 摘要 |
|---------------|------|------------------|-------|
| 平成元年5月11日(木) | 静岡市 | 静岡ターミナルホテル | 中部 |
| 平成2年5月25日(金) | 浜松市 | 館山寺ロイヤルホテル | 西部 |
| 平成3年5月21日(火) | 下田市 | 下田市民会館 | 伊豆東南部 |
| 平成4年5月25日(月) | 御前崎町 | 御前崎サンホテル | 中部 |
| 平成5年5月25日(火) | 熱海市 | 大月ホテル | 熱海・伊東 |
| 平成6年5月17日(火) | 静岡市 | 静岡ターミナルホテル | 中部 |
| 平成7年5月29日(月) | 浜松市 | アクティティ | 西部 |
| 平成8年5月27日(月) | 焼津市 | 焼津グランドホテル | 中部 |
| 平成9年5月14日(水) | 清水市 | 日本平ホテル | 中部 |
| 平成10年5月25日(月) | 伊東市 | ホテルラヴィエ川良 | 熱海・伊東 |
| 平成11年5月17日(月) | 静岡市 | ホテルセンチュリー静岡 | 中部 |
| 平成12年5月25日(木) | 掛川市 | 掛川グランドホテル | 西部 |
| 平成13年5月24日(木) | 三島市 | みしまプラザホテル | 東部 |
| 平成14年5月29日(水) | 熱海市 | 大月ホテル | 熱海・伊東 |
| 平成15年5月27日(火) | 静岡市 | ホテルセンチュリー静岡 | 中部 |
| 平成16年5月25日(火) | 東伊豆町 | 熱川第一ホテル | 伊豆東南部 |
| 平成17年5月25日(水) | 熱海市 | ホテル大野屋 | 熱海・伊東 |
| 平成18年5月25日(木) | 伊東市 | ハトヤホテル | 熱海・伊東 |
| 平成19年5月25日(金) | 富士市 | ホテルグランド富士 | 東部 |
| 平成20年5月29日(木) | 浜松市 | 館山寺レイクホテル花乃井 | 西部 |
| 平成21年5月27日(水) | 熱海市 | 熱海後楽園ホテル | 熱海・伊東 |
| 平成22年5月20日(木) | 静岡市 | ホテルセンチュリー静岡 | 中部 |
| 平成23年5月23日(月) | 静岡市 | 静岡グランドホテル中島屋 | 震災・中部 |
| 平成24年5月23日(水) | 伊東市 | 伊東ホテル聚楽 | 熱海・伊東 |
| 平成25年5月21日(火) | 西伊豆町 | 堂ヶ島ニュー銀水 | 伊豆中西 |
| 平成26年5月21日(水) | 伊豆市 | 桂川 | 伊豆中西部 |
| 平成27年5月26日(火) | 掛川市 | つま恋 | 西部 |
| 平成28年5月26日(木) | 下田市 | 下田ビューホテル | 伊豆東南部 |
| 平成29年5月24日(金) | 浜松市 | 時わすれ開華亭 | 西部 |
| 平成30年5月24日(木) | 三島市 | 三島プラザホテル | 東部 |
| 令和元年5月22日(水) | 焼津市 | アンビア松風閣 | 中部 |
| 令和2年5月27日(水) | 熱海市 | 熱海後楽園ホテル 書面総会 | 熱海・伊東 |
| 令和3年5月24日(月) | 西伊豆町 | 堂ヶ島ニュー銀水 | 伊豆中西部 |
| 令和4年5月17日(火) | 熱海市 | 熱海後楽園ホテル | 熱海・伊東 |
| 令和5年5月23日(火) | 沼津市 | 沼津リバーサイドホテル | 東部 |
| 令和6年5月21日(火) | 静岡市 | ホテルグランヒルズ静岡 | 中部 |
| 令和7年5月28日(水) | 静岡市 | 静岡グランドホテル中島屋 | 中部 |

【報告事項 1】要望等の実施状況について

1. 観光産業振興議員連盟役員との意見交換会

【日 時】 9月 26 日(金)午後4時から5時

【場 所】 グランヒルズ静岡 3F 会議室

【参 加 者】 宮沢会長、土屋幹事長、野田事務局長、藤曲・河原崎・江間・鈴木副幹事長 7名
加藤理事長、高橋、稻葉、野毛、村上、小野、金原 副理事長 6名、事務局2名
計 9名

【要望内容】 ① 人手不足対策の継続支援
② 観光振興施策の実施
③ 南海トラフの巨大地震からの速やかな復旧のための体制づくり

2. 自民党中小企業連絡協議会への要望（令和8年度予算）

【日 時】 10月 30 日(木)午前 10 分から正午まで

【場 所】 県庁本館特別会議室(静岡市葵区追手町)

【参 加 者】 加藤理事長(専務 同行)<県内中小企業経済団体と合同の要望>

【要 望 先】 自民党静岡県支部連合会中小企業対策協議会 会長 良知 淳行

【要望内容】 ① 新型コロナウイルス支援策の継続的な実施について
② 宿泊産業の振興と誘客の促進について
③ 宿泊施設の安全対策について
④ 住宅宿泊事業法及び同県条例の適正な運用について
⑤ 人手不足対策の充実について
⑥ エネルギー経費及び物価の高騰への迅速な対策について
⑦ 地域交通インフラの確保と整備について
⑧ 静岡の資源を活かした観光誘客の促進について
⑨ 受変電設備に使用されている低濃度のPCBの処分について

【参考】 令和7年度 国や自治体への要望活動等の概要

| 月 日 | 要 望 先 等 |
|---------|---|
| 4月 11日 | スポーツ文化観光部長、健康福祉部長、経済産業部長(理事長、高橋、丸山、野毛、村上、小野、金原副理事長、事務局2名、9名で訪問) |
| 8月 26日 | 公明党政策要望懇談会(専務 1名) |
| 9月 26日 | 観光産業振興議員連盟役員との意見交換会(理事長、稻葉、野毛、高橋、村上、小野、金原副理事長 6、事務局2 計 9 名) |
| 10月 30日 | 自民党静岡県支部連合会中小企業対策連絡協議会(理事長、専務) |
| 12月 1日 | 県議会議長への要望(理事長、専務) 健康福祉部生活衛生局長への生衛業組合合同要望(理事長、専務) |

次年度要望(新規要望部分)(抜粋)

【宿泊産業の振興と誘客の促進について】

一昨年のコロナの5類移行後、全国では順調に回復しておりますが、本県では、全国に比較して回復が遅れており、今後の外国人宿泊者の速やかな回復を期待するところであり、内外から多くの宿泊客をお迎えできる環境整備とともに SNS やWebを活用した魅力発信が必要あります。

- ① 静岡県のさらなる魅力の掘り起こしと全国や首都圏へ向けたSNSやWebのインフルエンサーなども活用した情報発信の強化と受け入れ体制の整備への一層の支援強化を要望します。
- ② 静岡県の魅力と観光資源についての恒常的な情報発信を図るため、首都圏への物産事務所など情報発信拠点の復活設置を要望します。

【災害発生後の速やかな復旧・復興を支援する制度の整備について】

令和 6 年元日に発生した能登半島地震では、和倉温泉のホテル旅館が大きな被害を受けましたが、復興・再建へ向けた取組みが大きく遅れています。

能登半島地震とは比較にならない広範囲に及ぶ南海トラフ巨大地震が発生した場合であっても、できるだけすみやかな復旧・復興、事業再建が進められるよう要望します。

- ① ホテル旅館が宿泊者や二次避難者の受入施設の役割を果たすことができるよう、公共施設や避難所と同様に利用可否の判定が速やかに実施できる体制整備を要望します。
- ② 市町による被害認定の結果、半壊以上の場合は公費解体の対象となりますので、被害認定と指定業者による公費解体が速やかに実施できる体制の整備を要望します。
- ③ 大規模災害時には、設計業者や建設業者の不足、建設資材の高騰が想定されますが、復旧・復興の建設工事等に遅れが生じない対策を講じられますよう要望します。

【住宅宿泊事業法及び同県条例の適正な運用について】

住宅宿泊事業法が施行されて7年経過しておりますが、コロナ禍中を含め、静岡県における届出件数は一貫して増加しています。民泊施設は、宿泊客の安心安全や地域住民の住環境を損なうおそれがあるほか、旅館業法で許可されない住居専用地域での営業など、既存の宿泊施設との公正な競争を損ない、地域の経済や雇用の場の混乱、疲弊を招きかねません。

また、住宅宿泊事業法の届出がないまま、「家族や親戚を泊めている」と言って、違法に宿

泊営業を行っている外国人の存在が問題となっています。

- ① 地域住民とのトラブル等も懸念されるため、学校等の周辺、住居専用地域における平日の規制等の遵守、年間提供日数の適正な報告、相談窓口に寄せられた情報等に対する立ち入り検査等の迅速な指導監督、無届け民泊等への厳正な対処を要望します。
- ② 旅館業法や住宅宿泊事業法の届出のないまま実質的な旅館営業を行っている違法事業者の取締り実施を要望します。

【 地域交通インフラの確保と整備について 】

(1) 地域の交通網の整備(抜粋)

県と関係市町が経営する西伊豆と清水を結ぶ駿河湾フェリーについては、現在、県において、存続の是非が検討されています。

- ① 高齢者の足となり、重要な二次交通の役割を果たしている駿河湾フェリーについては、高齢者の旅行がますます増大する状況の中で、地域の観光と発展を支える重要な交通インフラですので、公的な運営のもと、存続を要望いたします。

掛川地域にはバスの車輪がはみ出しそうな県道の狭隘箇所があり、高速道路へのアクセスの利便性向上が求められている地域があります。

- ② 掛川から森町に至る県道 81 号線の狭隘箇所の拡幅を要望します。また、新東名高速道路掛川パーキングエリアにスマートインターの設置を要望します。

【報告事項2】ホテル旅館の事業継続計画(災害編)ガイドブックについて

(静岡県健康福祉部衛生課からの委託事業)

1. 事業の目的等

ホテル旅館では、施設内に常に宿泊客等を抱えていることから、感染症の蔓延時や自然災害などの発生時に、宿泊客の安全安心の視点から、その対応方法が大きな課題とされ、最近では、2020年初頭から猛威を振るった新型コロナ感染症に大きな影響を受けた。

また、自然災害の発生も相次ぎ、静岡市内では、2022年秋の台風の集中豪雨により宿泊施設を土砂が直撃したほか、広い範囲にわたる溢水が発生した。さらには、本年1月には、最大震度7の地震が発生し、施設本体への被害発生やライフラインの途絶によりホテル旅館が長期間、休業を余儀なくされている能登半島では、夏には、豪雨による災害も続いて発生した。

このような感染症や自然災害に対しては、災害発生時はもちろん、その後の対応において事業継続計画が極めて有効であり、従来からその必要性が繰り返し強調されているが、ホテル旅館における計画作成は、なかなか進んでいないと推定される。このため、できるだけ多くのホテル旅館において、スムーズな事業継続計画作成が進むよう、ホテル旅館業の特質や課題を踏まえたホテル旅館に特化した事業計画づくりを支援するガイドブック(仮称)を制作する。

令和6年度は、特定感染症発生期における衛生水準の確保と事業継続のモデル「感染症を対象とした事業継続計画の作成ガイドブック(仮称)」を制作し、3月に組合員へ配布した。

令和7年度には、自然災害発時におけるホテル旅館における衛生水準の確保と事業継続のモデル「自然災害を対象とした事業継続計画の作成ガイドブック(仮称)」を制作する。

2. 進め方

有識者(専門家2人)、ホテル旅館の事業者(公募で10人)、事務局(2人)の計14人で検討ワーキンググループを組織し、6月頃から翌年1月までの間に3回程度の会議の開催と2回程度の先進事例現地調査を行って検討を進め、その結果を冊子にする。

「旅館ホテル事業継続計画策定推進事業」検討WGメンバーネーム簿

| 氏名 | 屋号等 | 氏名 | 屋号等 |
|------------|----------------|--------|------------------|
| (座長) 小村 隆史 | 常葉大学社会環境部准教授 | 久住 与志人 | 静岡タウンホテル |
| 石川 浩 | IWATAステーションホテル | 望月 康男 | ホテルアーバント静岡 |
| 入谷 真弘 | ホテル盛松館 | 諸川 大 | 浜松ホテル |
| 大内 善栄 | 下田セントラルホテル | 松永 亜弓 | せせらぎの宿紅竹 |
| 大澤 鉄平 | BAY HOTEL 入船館 | 山口 隆良 | 招福の宿ゑびすや |
| 加藤 弥生 | 土筆旅館 | 小川 英雄 | 静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合 |
| 金嶋 千明 | 前県地震防災センター所長 | 杉田 志野 | // // |

3. 参考資料

- ・ ホテル旅館の事業継続計画ガイドブック<災害対策編>(案)(抜粋)
- ・ ホテル旅館の事業継続ノート<災害対策編>(案)(抜粋)

【報告事項3】 NHKまとめ払いの状況について

業界団体 取りまとめ参加状況 (202509末)

【各都道府県旅館生活衛生同業組合】

| 局・センター | 対象数 | 参加数 | 参加率 |
|--------|-----|-----|--------|
| 東京都 | 742 | 672 | 90.5% |
| 長野県 | 829 | 595 | 71.7% |
| 新潟県 | 406 | 324 | 79.8% |
| 山梨県 | 189 | 154 | 81.4% |
| 神奈川県 | 349 | 303 | 86.8% |
| 群馬県 | 446 | 363 | 81.3% |
| 茨城県 | 366 | 306 | 83.6% |
| 千葉県 | 328 | 306 | 93.2% |
| 栃木県 | 299 | 257 | 85.9% |
| 埼玉県 | 252 | 202 | 80.1% |
| 大阪府 | 336 | 321 | 95.5% |
| 京都府 | 424 | 386 | 91.0% |
| 兵庫県 | 368 | 304 | 82.6% |
| 和歌山県 | 219 | 193 | 88.1% |
| 奈良県 | 137 | 123 | 89.7% |
| 滋賀県 | 151 | 151 | 100.0% |
| 石川県 | 228 | 178 | 78.0% |
| 静岡県 | 621 | 511 | 82.2% |
| 福井県 | 154 | 132 | 85.7% |
| 富山県 | 146 | 134 | 91.7% |
| 三重県 | 202 | 183 | 90.5% |
| 愛知県 | 375 | 326 | 86.9% |
| 岐阜県 | 407 | 318 | 78.1% |
| 広島県 | 261 | 248 | 95.0% |
| 岡山県 | 140 | 120 | 85.7% |
| 島根県 | 171 | 158 | 92.3% |
| 鳥取県 | 123 | 109 | 88.6% |
| 山口県 | 179 | 169 | 94.4% |
| 熊本県 | 385 | 366 | 95.0% |
| 福岡県 | 300 | 283 | 94.3% |
| 長崎県 | 282 | 259 | 91.8% |
| 鹿児島県 | 319 | 276 | 86.5% |
| 宮崎県 | 195 | 163 | 83.5% |
| 大分県 | 441 | 341 | 77.3% |
| 佐賀県 | 136 | 130 | 95.5% |
| 沖縄県 | 293 | 258 | 88.0% |
| 宮城県 | 238 | 181 | 76.0% |
| 秋田県 | 181 | 147 | 81.2% |
| 山形県 | 274 | 242 | 88.3% |
| 岩手県 | 264 | 220 | 83.3% |
| 福島県 | 446 | 370 | 82.9% |
| 青森県 | 219 | 190 | 86.7% |
| 北海道 | 792 | 677 | 85.4% |
| 愛媛県 | 214 | 184 | 85.9% |
| 高知県 | 189 | 150 | 79.3% |
| 徳島県 | 103 | 96 | 93.2% |
| 香川県 | 105 | 92 | 87.6% |

2024年9月 84.0% 36位 ⇒ 82.2% 36位



【報告事項 4】第12回 ふじさんの日お宿キャンペーンの実施について

「2026 富士山の日お宿キャンペーン」

| | |
|-------|--|
| 期 間 | 令和8年2月1日(土)～令和8年3月31日(月) |
| 対 象 | 期間内に静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合加盟の宿泊施設にお泊りいただいた方 |
| テ ー マ | 富士山の日を広く周知するとともに、宿泊クーポン券より組合員施設への宿泊を促進する。 キャンペーンは12年目 |
| 応募方法 | 従来の「応募はがき」に代えて、宿泊施設に配布したチラシのQRコードを読み取って、スマホから、住所氏名やクイズの答えを記入して応募する方法に変更 |
| 当選商品 | 答えが正解の応募者に抽選で宿泊クーポンをプレゼント (A賞 20,000円×10名 B賞 10,000円×10名 オリジナル賞品×20名) |
| 結果発表 | 抽選日：令和8年4月上旬 予定 4月中旬より 商品の発送をもって発表とする。 |
| 利用期間 | 令和8年5月1日(金)頃～令和8年10月31日(金)約6か月間 |

- ※ 各施設の配布は支部事務局に依頼
- ※ 各支部への配布は1月上旬
データを組合施設へも配信予定
- ※ 抽選会は4月上旬実施予定



【報告事項5】 ふるさと納税返礼品クーポン券発行実績について

静岡県税務課からの依頼をうけ、令和5年11月30日より実施

◆掲載サイト：さとふる <https://www.satofull.jp/>

◆品名：しづおかの宿 宿泊割引券

| 宿泊割引券 | 寄付金額 |
|----------------------|----------|
| 20,000円(5,000円×4枚) | 71,000円 |
| 30,000円(5,000円×6枚) | 106,000円 |
| 100,000円(5,000円×20枚) | 352,000円 |

◆有効期間：クーポン発行日より1年間以内にチェックインしたお客様まで有効。いつでも利用可能

◆利用対象施設：組合加盟施設のみ（一部システムの都合により利用不可施設あり）

◆ふるさと納税の実績

（単位：件・千円）

| 年月 | 10万円 | 3万円 | 2万円 | 寄付額 | 備考（静岡県への寄付額） |
|---------|------|--------|-------|----------|--------------|
| 令和5年11月 | | 3 | – | | |
| 12月 | | 11 | 6 | | |
| 令和6年1月 | | 49 | 22 | | |
| 計 | | 63 | 28 | 8,666 | |
| 令和6年5月 | | 7 | 1 | | |
| 6月 | | – | – | | |
| 7月 | | 4 | – | | |
| 8月 | | 7 | – | | |
| 9月 | | 17 | | | |
| 10月 | | 19 | 4 | | |
| 11月 | | 12 | 5 | | |
| 12月 | | 50 | 7 | | |
| 令和7年1月 | | 79 | 18 | | |
| 3月 | | 1 | – | | |
| 計 | | 196 | 35 | 23,261 | |
| 令和7年5月 | | 4 | | | |
| 6月 | | 1 | | | |
| 7月 | | 7 | 5 | | |
| 8月 | | 0 | 1 | | |
| 9月 | | 26 | 4 | | |
| 10月 | | 27 | 8 | | |
| 11月 | 1 | 12 | – | | |
| 12月 | 6 | 10 | 5 | | |
| 令和8年1月 | | | | | |
| 2月 | | | | | |
| 計 | 7 | 87 | 23 | 13,319 | |
| 合計 | 7 | 346 | 86 | 45,246 | |
| クーポン発行額 | 700 | 10,380 | 1,720 | 計 12,800 | (千円) |



| 年度 | 件数 | 寄附金額 |
|------|-------|---------|
| 令和6 | 2,663 | 200,356 |
| 令和5 | 1,786 | 171,476 |
| 令和4 | 1,600 | 29,793 |
| 令和3 | 2,911 | 54,483 |
| 令和2 | 2,465 | 46,723 |
| 令和1 | 1,326 | 18,628 |
| 平成30 | 1,162 | 16,726 |

R6 年度県総額の 11.6%

12月末日現在発行枚数
6年度 764枚
7年度 754枚 (△10枚)

(千円)

【報告事項 6】 今後の主な行事

青年部DX先進事例視察研修

1. 開催日 令和2月3日(火) 15時
2. 開催場所 箱根塔ノ沢一の湯
3. 内容 DX先進事例視察研修

女性部新年研修会

1. 開催日 令和8年1月28日(火) 11時
2. 開催場所 掛川グランドホテル
3. 内容 講師:森木農園(株) 代表取締役 森木和也 氏
時代が変わっても“心”は変えない
～挑戦から見えたお客様に選ばれるヒント～

その他会議・研修会等

| 開催日 | 開催場所 | 内容 |
|--------------|-----------|------------------|
| 令和8年2月4日(水) | 時わすれ開華亭 | 東海ブロック事務担当者会議 |
| 令和8年2月12日(木) | グランドホテル浜松 | こころのバリアフリー講座 |
| 令和8年3月4日(水) | 品川フロントビル | 伊豆半島旅館ホテル合同企業説明会 |